

寒さを楽しむ

アイスクャンディづくり

札幌市立手稲鉄北小学校 高橋 透

季節感を味わうのは、生活科の大きなねらいの一つです。北海道で“季節”といえば“冬”。冬といえば…“雪”での活動が多いですね。

でも、冬は雪ばかりではありません。身にしみる“寒さ”を利用しない手はありません。そこで、“寒さ”を生かしたアイスクャンディづくりなどはいかがでしょうか？

紙コップなどにジュースを入れ、
割り箸を立てて一晩外に置く。

すっかり凍れば、これでアイスクャンディの出来上がり…。

でも、そううまくはいきません。水と違ってジュースなどは、真冬のさらに厳寒時、マイナス15度以下くらいにならないと凍らないのです。

明日は食べられるかな？！



「ん〜っ、何とか食べたいよ！」ここからが、子どもたちの工夫です。

- 学校で一番寒くなりそうな場所を探したり、埋め方を考える。
- 気温が低くなりそうな日を天気予報で調べる。
- 塩と氷を使うと温度が下がるという情報を手に入れてくる。
- ジュースの種類（濃い・薄いなど）による違いを試す。

時期としては、3学期早々の厳寒時がやはりいいですね。また、アイスクリームづくりにしてもおもしろいかもしれませんよ。